

応仁・文明の乱の遺跡

京都市考古資料館 山本 雅和

はじめに

- ・「汝^{なれ}ヤシル都ハ野^の辺^べノ夕^{ゆう}雲^{ひばり}雀アガルヲ見テモ落ツル涙ハ」(『応仁記』)
- ・「応仁・文明の乱」(『日本史B用語集』山川出版社)
1467～77(応仁元～文明9)年。細川勝元と山名持豊の対立に將軍継嗣争いと畠山・斯波家の家督相続争いがからんで起こった11年間の大乱。その結果、公家勢力・將軍權威は失墜し、戦国時代となる。

1. 応仁・文明の乱前史

- ・永享の乱・結城合戦
永享元年(1429):足利義教^{よしのり}が6代將軍となる
永享十年(1438):永享の乱
足利持氏^{もちうじ}(鎌倉公方)と上杉憲実^{のりざね}(関東管領)の対立にはじまる争い。足利義教が介入して足利持氏らを自害させる。
永享十二年(1440):結城合戦
足利持氏の遺児を奉じた結城氏朝らによる反乱。幕府軍により鎮圧されるが、これ以後も関東地方の紛争が続く。
- ・嘉吉の乱
嘉吉元年(1441):嘉吉の乱
赤松満祐^{みつすけ}らが足利義教を暗殺。
嘉吉三年(1443):足利義勝(7代將軍)が早世(10才)。足利義政が後継者に選出される(8才)。
政務は管領の細川持之・畠山持国らによりに主導される。
- ・室町幕府有力者の内紛
畠山政長^{まさなが}×畠山義就^{よしのり}
斯波義敏^{よしのとし}×斯波義廉^{よしかど}
細川勝元^{かつもと}×山名宗全^{そうぜん}(持豊)
足利義視^{よしみ}×足利義尚^{よしのき}・日野富子
関東:足利政知^{まさとも}×足利成氏^{しげうじ}

2. 応仁・文明の乱と京都の遺跡

- ・応仁・文明の乱の経過
文正の政変
斯波義敏ら(畠山政長の親派)の失脚。畠山義就の入洛。
上御霊社(御霊林)の戦い
上御霊社の畠山政長の陣を畠山義就が襲撃。政長は逃走。
洛中(上京)の戦い
一条大宮・百々橋^{とどろばし}などで東軍(細川勝元側)と西軍(山名宗全側)が激しい戦闘。
東岩倉山の戦い
東岩倉山の浦上則宗^{うらがみのりむね}(東軍)の陣を西軍が攻撃。
相国寺の戦い
相国寺の占有をめぐって東西両軍が激戦。
船岡山の戦い
船岡山の西軍の陣を東軍が攻撃。
洛外への合戦の拡大・広域化
- ・応仁・文明の乱の遺跡
室町殿(花の御所)跡
相国寺旧境内
天龍寺旧境内
構(かまえ)の堀
- ・乱の収束

3. 応仁・文明の乱とその後の京都

- ・市街地の変化
上京・下京の町並み→洛中・洛外
- ・戦乱と復興
構(かまえ)の構築
銀閣寺(慈照寺)と東山文化

おわりに

- ・「この前の戦争」
「花洛は真に名に負ふ平安城なりしに量らずも応仁兵乱に依て今赤土と成にけり」(『応仁記』)
- ・戦国時代の幕開け

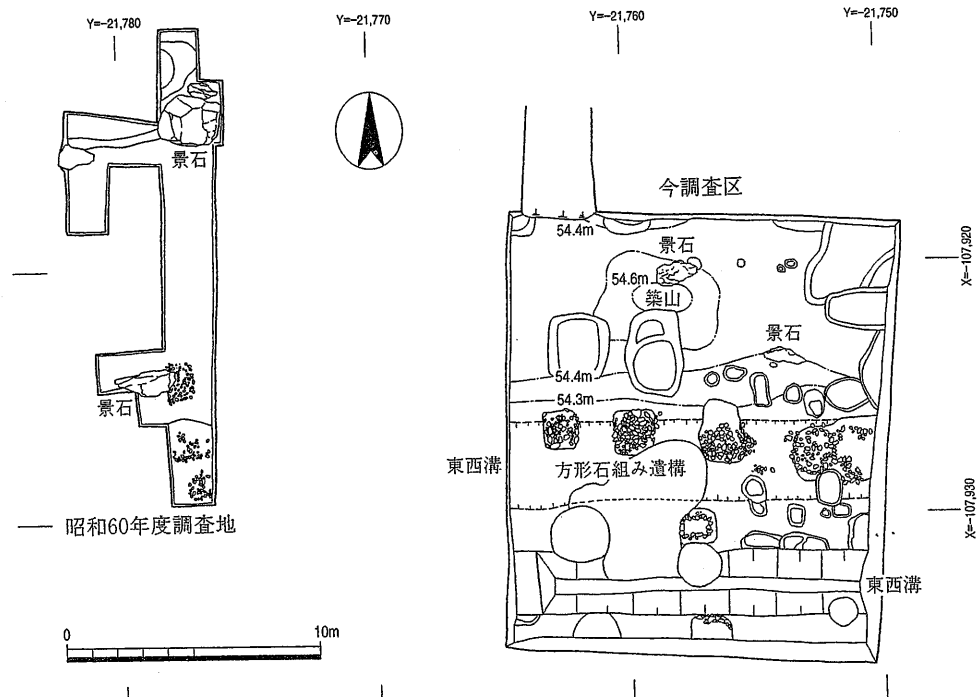


図1 室町殿（花の御所）跡の調査（埋文研 1994年）

中世の遺構

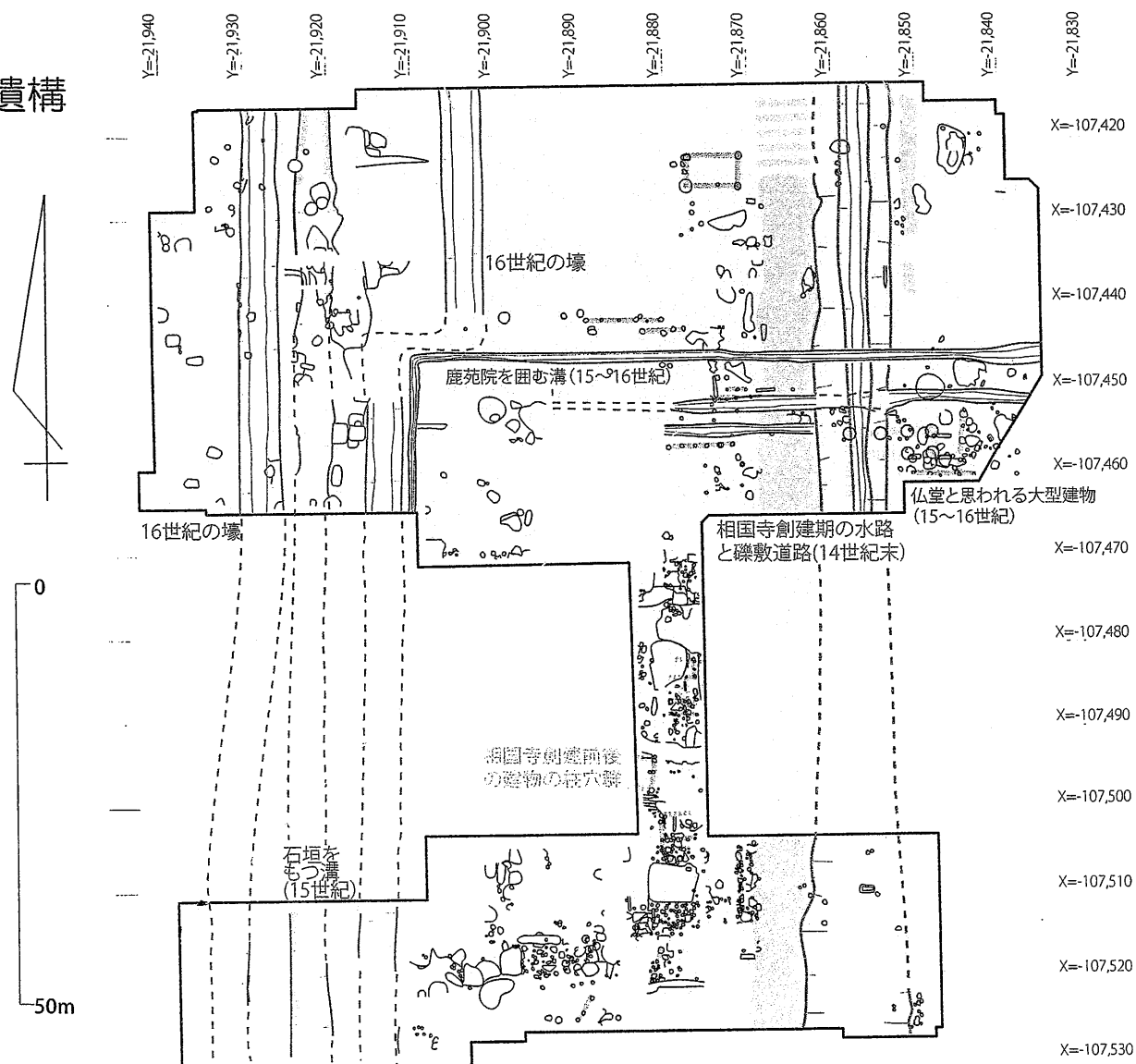


図2 相国寺旧境内の調査（「相国寺旧境内の発掘調査2－同志社大学今出川キャンパス整備に伴う発掘調査－」同志社大学 2011年）

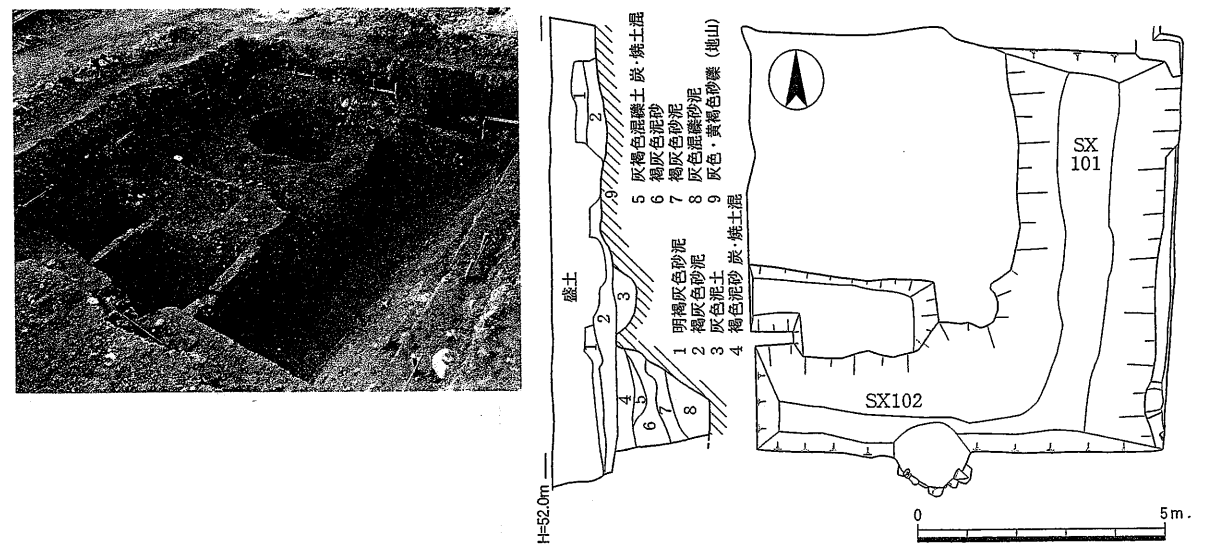


図3 烏丸一条の発掘調査（埋文研 2011年）

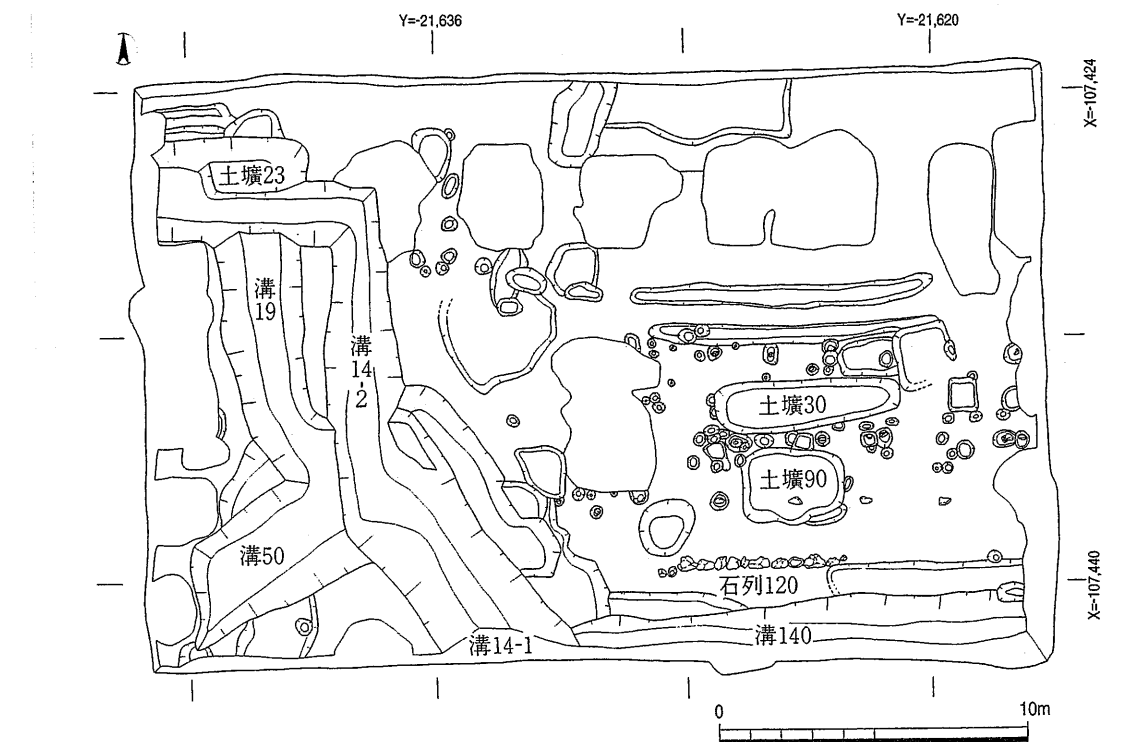


図4 烏丸寺之内の発掘調査（埋文研 1996年）

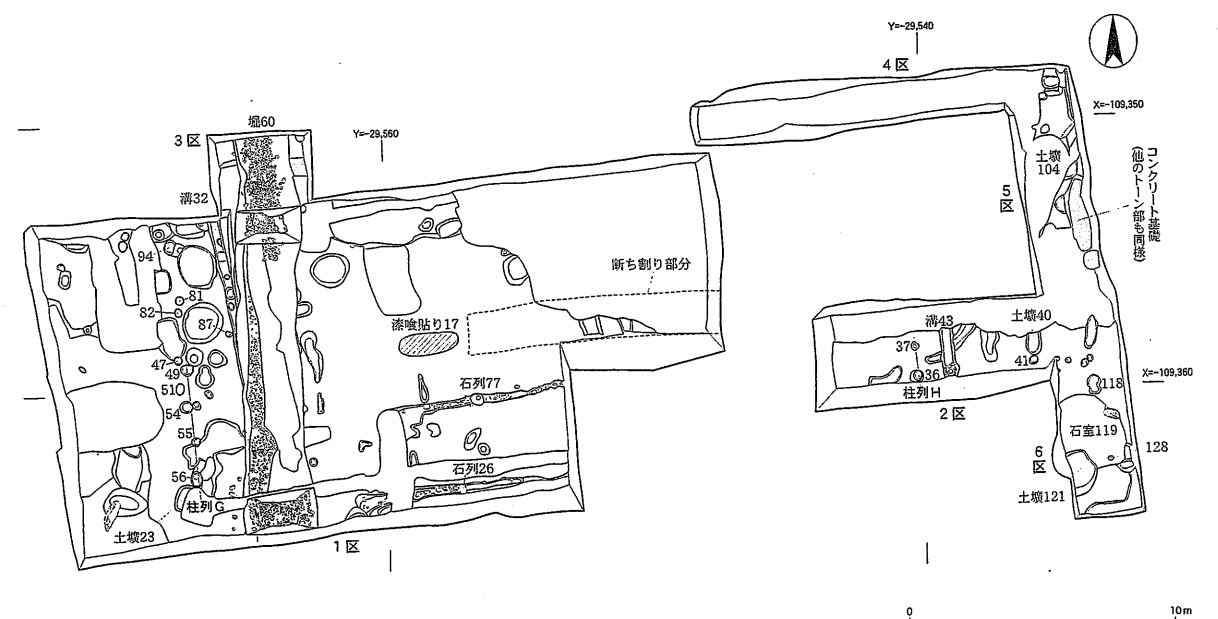


図5 天龍寺旧境内の調査（埋文研 2006年）

応仁・文明の乱関連略表

年号	西暦	出来事
明德3	1392	南北朝の合一。
永享元	1429	足利義教、将軍となる。
永享10	1438	永享の乱。翌年、持氏ら自害。
永享12	1440	結城合戦。結城氏朝らが持氏の遺児春王丸・安王丸を擁して結城城に蜂起。
嘉吉元	1441	1月29日 畠山持国罷免、弟の持永が家督を継承。 4月16日 結城城落城。 6月24日 嘉吉の乱。義教、赤松教康邸で暗殺される。 8月26日 嘉吉の徳政一揆。この頃、管領の細川持之、義教に処罰された人々の赦免を図る。 10月 赤松満祐ら自害。
嘉吉2	1442	細川持之、管領を辞任。畠山持国、管領となる。
嘉吉3	1443	足利義勝、死去。三春（足利義政）が跡を継ぐ。
文安5	1448	畠山持国、家督を弟の持富から庶子の義就とする。
宝徳元	1449	足利義政、将軍となる。室町殿に居住。足利成氏、鎌倉公方となる。関東管領は上杉憲忠。
享徳元	1452	斯波義敏、家督を継承。
享徳2	1453	細川勝元、管領となる。
享徳3	1454	畠山持国、隠居。義就と持富の子、義富が争う。 12月27日 足利成氏、上杉憲忠を謀殺。享徳の乱が始まる。
康正2	1456	斯波義敏、守護代の甲斐常治と不和。
寛正元	1460	義政、畠山家の家督を義就から義富の弟の政長とする。寛正の大飢饉が始まる。
寛正2	1461	後花園天皇、義政を諫める。斯波家の家督を義廉とする。
寛正5	1464	細川勝元、管領を辞任。畠山政長、管領となる。足利義視還俗。
寛正6	1465	義政、東山山荘の造営を決める。足利義尚誕生。
文正元	1466	文正の政変。斯波義敏・伊勢貞親ら失脚。畠山義就入洛、千本地蔵堂に陣取る。
応仁元	1467	1月18日 上御霊社の戦い。諸国の兵が入洛。 5月26日 洛中（上京）の戦い。東西両軍が衝突・激戦。 5月28日 義政、山名宗全と細川勝元へ停戦の命令。 5月30日 東西両軍、堀を一条大路に掘る（幅約6m・深さ約3mとの記録）。 6月11日 東軍、斯波義廉邸を攻撃。寺社・邸宅が多く焼亡。 6月22日 西軍、鹿苑寺（金閣寺）に陣取る。堂宇を破却。 8月16日 西軍、村雲に出撃。近衛邸・鷹司邸・誓願寺などが焼亡。 8月23日 大内政弘、船岡山に陣取る。後花園上皇・土御門天皇、室町殿遷御。足利義視出奔。 9月13日 西軍、室町殿・細川勝元邸を攻撃。畠山義就、土御門内裏を占拠。 9月18日 東岩倉山の戦い。西軍大敗。南禅寺などが焼亡 10月3日 相国寺の戦い。相国寺の大部分が焼亡。 3月 骨皮道賢、稲荷山に陣取る。 4月 東西両軍、高櫓を構える（高さ21mあるいは30mとの記録）。 7月4日 西軍、吉田社などに放火。 8月7日 西軍、清水寺に陣取る。山科を攻撃。 9月7日 船岡山の戦い。東軍勝利。 11月13日 足利義視、西軍の斯波義廉邸に入る。 この年の後半頃より合戦が洛外および各地に拡大。
文明元	1469	7月10日 東軍、清水寺・珍皇寺、建仁寺などに放火。
文明2	1470	4月14日 西軍、西岡（桂川右岸域）を攻撃。 6月14日 祇園社・賀茂社が焼亡。
文明3	1471	7月 京都で疱瘡が流行。
文明4	1472	1月15日 山名宗全・細川勝元、和睦交渉を行う。不調。
文明5	1473	3月18日 山名宗全死去。山名政豊が後継。 4月13日 和睦交渉。畠山義就が承知せず不調。 5月11日 細川勝元死去。細川政元が後継。 12月19日 足利義尚、将軍となる。
文明6	1474	3月3日 義政、義尚に室町殿を譲り、小川御所へ移る。 4月3日 山名政豊・細川政元が和睦。堀に橋を架ける。 7月1日 西軍、二条大宮・猪熊・堀川などに放火。戦いが再燃する。 7月13日 東軍、下京に放火。 7月26日 西軍、北野千本に放火。
文明7	1475	この年、洪水・暴風雨などの自然災害が頻発する。
文明8	1476	11月13日 室町殿が炎上。
文明9	1477	9月22日 畠山義就、河内へ下る。 11月11日 西軍の諸将が一斉に下国。応仁・文明の乱、収束。
文明11	1479	2月13日 室町殿再建開始。 4月26日 土御門内裏修造開始。
延徳元	1489	足利義尚死去。足利義材（義視の子）、将軍となる。
延徳2	1490	足利義政死去。
明応2	1493	明応の政変。足利義材が失脚。

東西両軍の布陣とその構成（応仁元・5・25～27）

	細川方（東軍）	山名方（西軍）
大手の口・北	薬師寺与一兄弟。摂津衆・大和衆	太田垣・田公宗理以下田公一族
大手の南、実相院	香川・安富。讃岐衆	山名摂津守・同伊豆守・垣屋一族・金沢・大坂・宮田。一色義直
舟橋上	武田信賢。長塩・奈良・秋庭	山名政清・同因幡守・六角高頼
舟橋下	細川教春・内藤貞徳・赤松貞村	
ドドの透	三宅・吹田・茨木・芥川	平賀
安居院大宮	安富民部・世保政康・斯波義敏・京極六郎	山名教豊・土岐成頼・佐々木一族
花ノ坊	細川道賢。土佐衆	畠山義就。大和衆・熊野衆
一条大宮（細川勝久邸）	細川勝久・細川成之・同成春・同政有	山名教之。斯波義廉・朝倉孝景・甲斐・織田・瓜生・鹿野・布施



文正2年(1467)正月の御霊林の合戦後、3月に応仁と改元。5月に入るや、激戦地「上京」はたちまち戦火につつまれた。図は応仁元年の戦況をおう上でとくに注意すべき地点を示したもの。

図6 応仁元年の合戦の概要（黒川・横井 1968年）

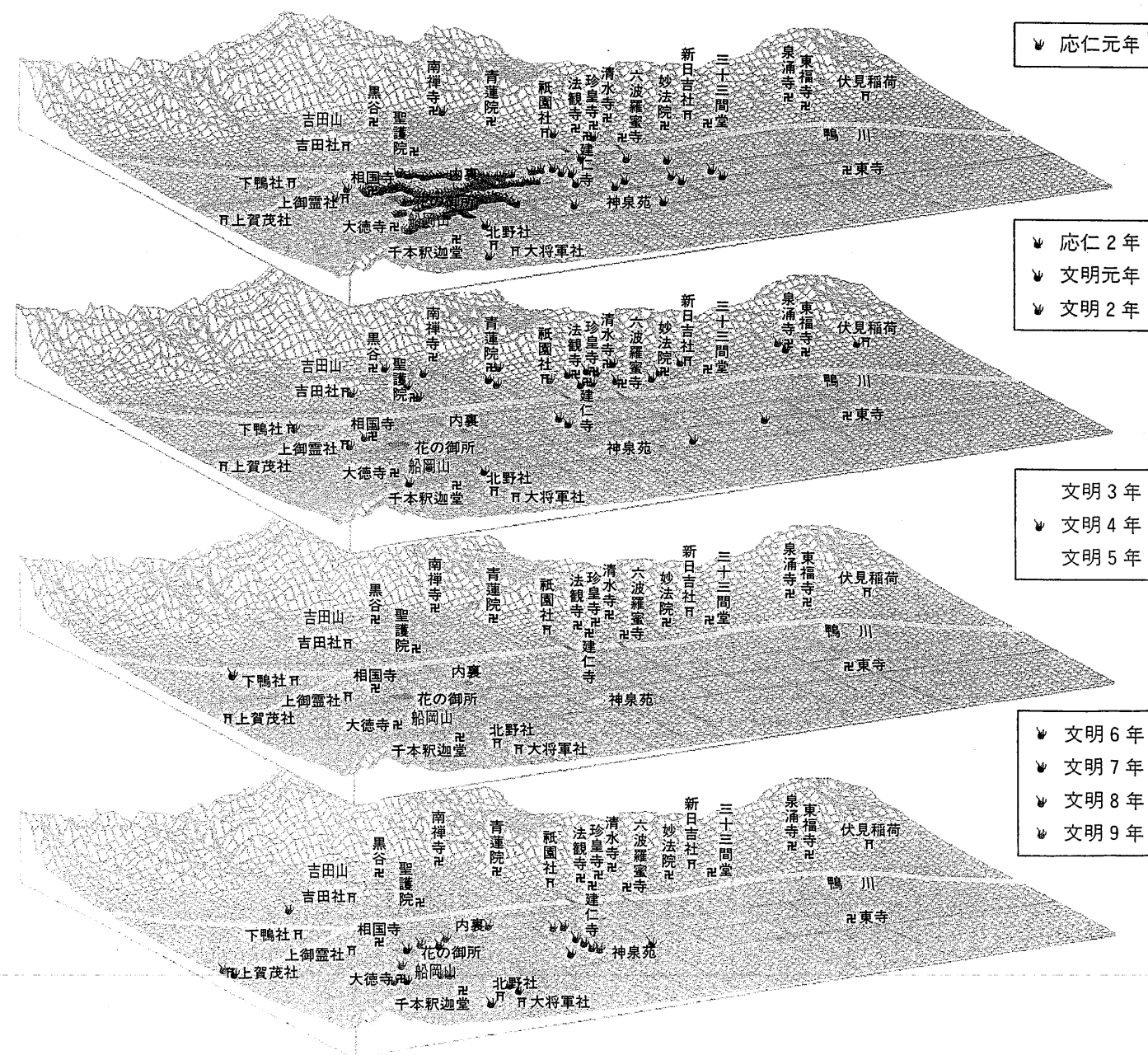
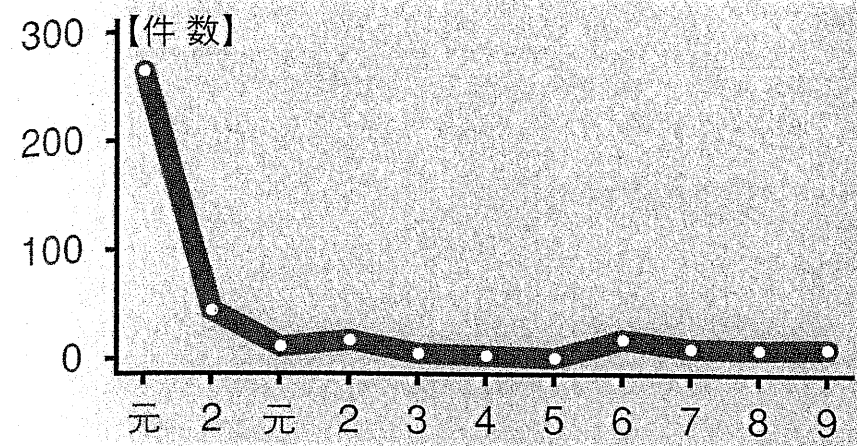


図7 応仁・文明の乱の推移 (吉村 1994年)

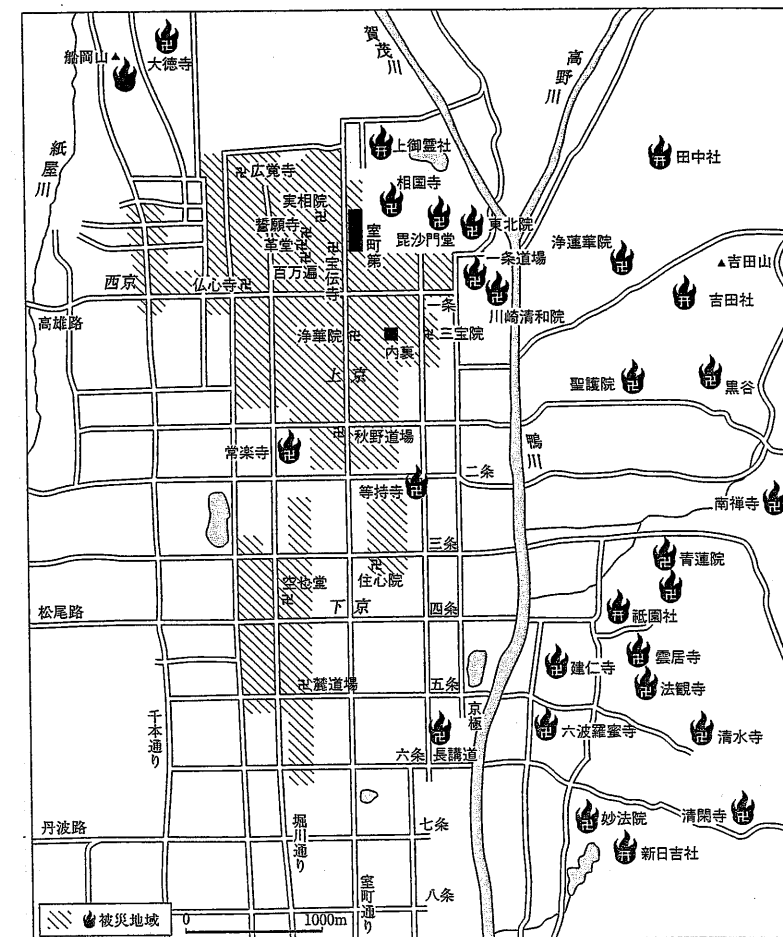


図8 応仁・文明の乱の被災地 (石田 2008年)

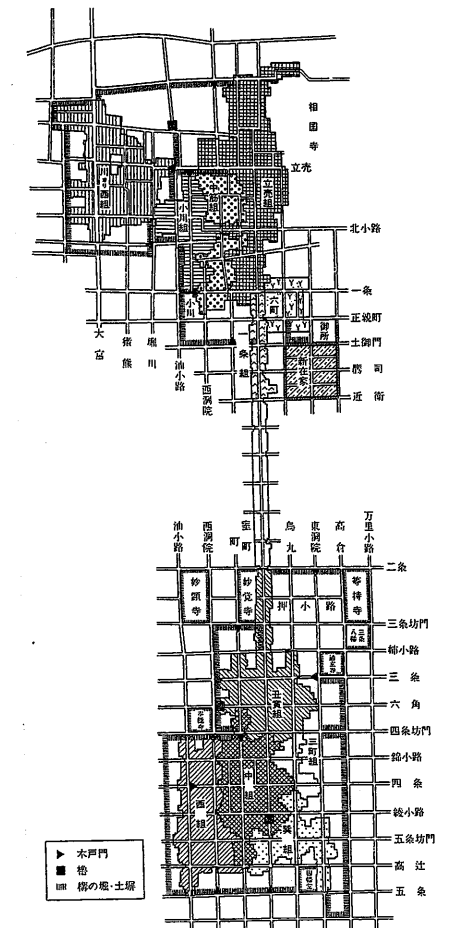


図9 応仁・文明の乱後の京都 (高橋 1983年)

主な引用・参考文献

- 黒川直則・横井清「第3章 大乱と荒廃」『京都の歴史3 近世の胎動』京都市史編纂所 1968年
- 高橋康夫『京都中世都市史研究』思文閣出版 1983年
- 吉村亨「応仁・文明の災」『京都歴史アトラス』中央公論社 1994年
- 「室町殿跡」『平成元年度京都市埋蔵文化財調査概要』(財)京都市埋蔵文化財研究所 1994年
- 「相国寺旧境内」『平成5年度京都市埋蔵文化財調査概要』(財)京都市埋蔵文化財研究所 1996年
- 山本雅和「京都の戦国時代」『戦国時代の考古学』高志書院 2003年
- 『上京遺跡 京都市埋蔵文化財研究所発掘調査報告 2004-9』(財)京都市埋蔵文化財研究所 2004年
- 馬瀬智光『京の城—洛中洛外の城郭—』京都市 2006年
- 『史跡・名勝 嵐山 京都市埋蔵文化財研究所発掘調査報告 2006-9』(財)京都市埋蔵文化財研究所 2006年
- 石田晴男『戦争の日本史9 応仁・文明の乱』吉川弘文館 2008年
- 福島克彦『戦争の日本史11 畿内・近国の戦国合戦』吉川弘文館 2009年
- 山田邦和『京都都市史の研究』吉川弘文館 2009年
- 「平安京左京北辺三坊五町」『昭和55年度京都市埋蔵文化財調査概要』(財)京都市埋蔵文化財研究所 2011年